EXPO2025 JPO-WIPO AWARD 受賞スピーチ

SPACECOOL 株式会社

この度は万博のために特別に作られた EXPO2025 JPO-WIPO AWARD を気候変動部門において賜り、心より光栄に思っております。

SPACECOOL は放射冷却素材という、直射日光を受けても宇宙に熱を逃すことで、電力を使わず周囲より温度低下する素材を開発・製造・販売する2021年に創業した、ディープテック、グリーンテック、そしてカーボンニュートラルなスタートアップです。スタートアップ企業の中でも、少し変わった出自を持っていると思っています。私は大阪ガスの研究員として光工学の研究開発を立ち上げるところからキャリアをスタートしました。その一環で立ち上げた技術の一つが2017年から始めた放射冷却素材。世界でこの分野の研究が盛り上がり始めた黎明期から取り組めたことで、国内外で複数の強い権利の取得ができました。開発当初からプラットフォームとなることを意識し、素材特許のみならず応用特許も併せて取得し続けました。この特許群はオープン&クローズ戦略として今の事業活動に活かされています。世界でも早く研究開発を始められましたので、一番単純な商標を取得したいと思いました。SPACECOOLという商標は、大阪ガスからカーブアウトする1年前に妻と相談し生み出した商標です。SPACE も COOL も世界中の小学生が知っている英単語。我々の素材の「宇宙に熱を逃し、ゼロエネルギーで冷える」この特性を完璧に抑えた二語の商標は先駆者だからこそ得られたものです。

ところで、特許を権利化するところで終わらせるのではなく、人々の生活を豊かにし、それを継続するつまりは” Going Concern”とすることが本質だと思います。そのために大阪ガスからこの特許技術をカーブアウトさせ、そのスタートアップに同士を集め、ものを作り、それをグローバルに普及させました。実に泥臭く、困難の連続でした。現在のようにビジネスとして回り始めたのは SPACECOOL の社員、株主、そして、パートナー企業の熱意と一歩踏み出す勇気があったからこそです。それがなくては、特許はただの権利で終わり、化石となっていたでしょう。心強いチャレンジ精神を持ったパートナー、彼らの皆さんの素晴らしい努力のもとに、技術が世の中に実装するものだと思っておりますので、心からメンバーに感謝しております。

今、万博会場内にはいくつか SPACECOOL が採用されています。ガスパビリオン、東エントランスの案内所の防水シート、夢洲駅降りてすぐのところにあるテントなど。まさに、大阪・関西万博の「未来社会の実験場」、この技術を愛する日本人の懐の深さに支えられて私たちはグローバルに成長できる力をつけました。

私たちの知財活動の成果以上に、私たちの仲間の熱量とチャレンジ精神があったからこそ今回の賞だと思っています。SPACECOOLに関わる全ての方々にこの場を借りて感謝いたします。